

# News Letter

2024年

6 月

中国四国農政局  
広島県拠点

## 造林用樹種「コウヨウザン」 ～林業の新たな選択肢～



「コウヨウザン」

広島県は、面積の7割を森林が占めており、その約3分の1の人工林は建材利用を目的とするスギやヒノキで構成されています。

そのうち半数以上が林齢50年を超え、主伐（収穫）期を迎えようとしており、伐採後の造林用樹種の選定が進められています。

林業関係者の間では、中国、台湾原産で、日本には江戸時代後期に渡来した「コウヨウザン（広葉杉）」に関心が高まっており、広島県立総合技術研究所林業技術センター・次長（兼技術支援部長）の涌嶋 智（わくしま さとる）さんに、「コウヨウザン」の研究成果や現在の取組と課題について伺いました。

### 早く・強い

「コウヨウザン」は、樹齢20年～30年で収穫が可能な早生樹で、スギやヒノキと比較した場合、概ね半分の生育期間での収穫が見込まれ、ヒノキとの比較では樹高成長が3割ほど早いことが確認されています。

また、樹齢を重ねるほどに強度が増す性質を持っており、建材として必要な強度は、若齢でスギと同等、高樹齢でヒノキに近い性能があり、柱材や集成材、合板といった製材品を含め、幅広い用途への使用が期待できます。

### 更なる低コストの実現へ

さらに、切り株から発芽して新しい樹木に成長する「萌芽更新」という特色があります。

一般的にスギやヒノキなどの針葉樹は、伐採後に新しい苗木を植える必要があるため植栽費用が掛かります。

コウヨウザンは、切り株から萌芽した芽を成長させることが可能なため、2回目以降の植栽費用が大幅に軽減されます。

また、コウヨウザンは初期成長が早く、成長促進の目的で行う下草刈は、スギやヒノキでは5年程度必要ですが、2年程度で終わることができるため、大幅な作業軽減と低コストを実現します。



試験用の集成材



旺盛に萌芽した切り株

針葉樹：葉が針のように細長く、幹がまっすぐ上に伸びたものが多い。マツ、スギやヒノキが属し、木材として利用されている。

集成材：複数の木材を接着して成型される木質材料で、集成材は天然材に比べ強度や寸法が安定し耐久性に優れるため、家の構造体や床、家具などに使用されている。

萌芽更新：伐採後、切り株から生えてくる芽を育て、次の森林を作る方法。

# 課題と解消に向けた研究の取組

## 野ウサギによる食害対策

他方、コウヨウザンは、野ウサギによる食害を受けやすい傾向があり、同じ場所にスギ、ヒノキとコウヨウザンの苗を植栽したところ、スギとヒノキはほぼ被害なし、コウヨウザンの大半は被害を受けました。そのため、苗木に保護資材を被覆する方法や忌避剤の併用などの試験研究が進められています。

## 種苗の確保

現在、種子を中国から輸入していますが、将来に渡り種子の必要量を確保するため、広島県三次市（みよし）に採種園を造成し、供給体制の整備を開始しています。



種子採取用に植えられた  
コウヨウザン

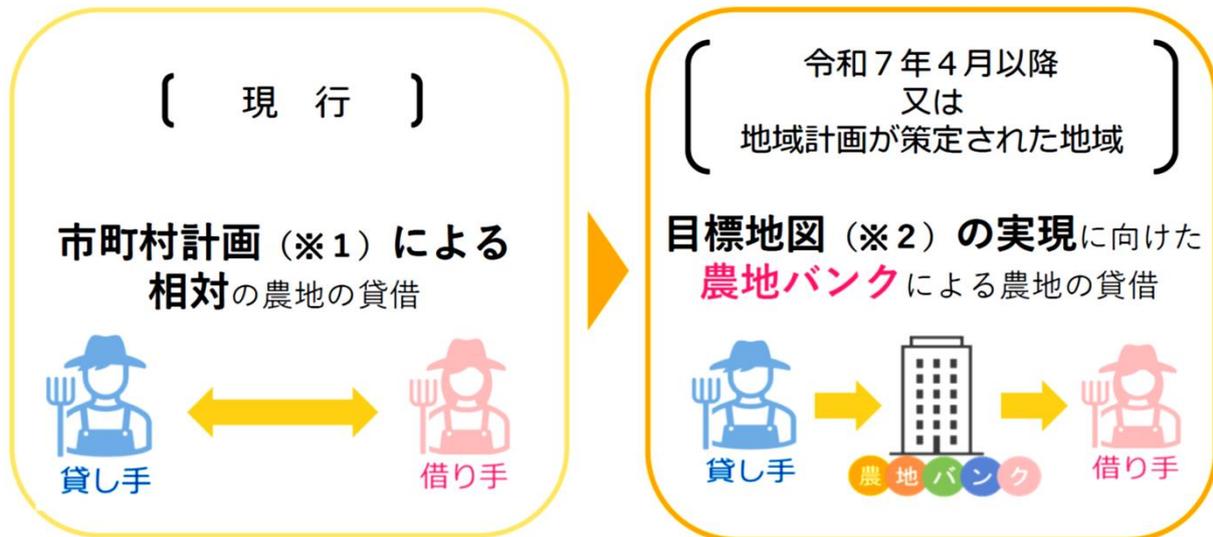
取材先：広島県立総合技術研究所林業技術センター

<ホームページURL> <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/33/>

## 令和7年4月から農地の貸借等が原則農地バンク経由になります！

これまで市町村が作成した農用地利用集積計画から農地バンクを経由した農用地利用集積等促進計画に一本化されます。

※農地法に基づいて農業委員会の許可を受けて権利設定を行うことは可能です。



※1 市町村が作成する農用地利用集積計画

（同計画による貸借は令和7年3月までは経過措置期間として活用可能）

※2 目標地図 市町村の作成する地域計画の中で、農地一筆ごとに、誰が耕作するのかを示した地図。随時更新が可能。

☆農地バンク制度の詳細は、農林水産省HPをご利用ください！

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/kikou/nouchibank.html>

農地の賃貸借等についてのご相談はお近くの**農地バンク・市町村・農業委員会**まで！

編集：中国四国農政局 広島県拠点

〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30

TEL (082)228-9676(内線306)

<農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。<https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>